

2014年度 JTA組手ランキング・ベスト7

第25回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会 組手選抜者及び推薦出場者発表 (確定)

2014年10月17日

日本テコンドー協会

宗師範 河 明生

2014年度、JTA組手ランキング・ベスト7を定め、
第25回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会・組手無差別級の選抜出場及び推薦出場選手を発表する。

記

選手名 段位 所属 年齢 身長/体重 出身地 得意技 選抜基準

チャンピオン 倉田剛志 二段 東京港TC 35 186/99 北海道函館 踵落とし蹴り 全日本大会優勝・関西大会重量級優勝

1, 組手ベスト7 (JTA男子組手ランカー。第25回全日本FT大会男子無差別級組手出場権獲得者)

第1位 吉場亮介 初段 神奈川大学横浜体育会 22 181/67 全日本大会2位 (繰り上げ)、 神奈川大会中量級優勝
関東大会中量級優勝、東京大会優勝、全日本学生大会中量級優勝

第2位 該当者無し

第3位 該当者無し

第4位 石川洋輝 初段 神奈川大学湘南体育会 22 170/89 川崎 全日本大会3位 (繰り上げ)、
全日本学生大会重量級優勝

第5位 渡辺智也 初段 岡山大学体育会 22 163/63 愛媛西条 全日本学生大会軽量級優勝
四国大会軽量級優勝、兵庫大阪大会無差別級優勝

第6位 武石悠生 初段 神奈川大学横浜体育会 22 173/63 神奈川相模原 後ろ回し蹴り 中部大会無差別級優勝
東京大会軽量級優勝

第7位 秀崎康隆 初段 福岡筑紫野TC 福岡秋月 後ろ回し蹴り 佐賀大会無差別級優勝
九州大会無差別級優勝

2、アンダー7 その1 (予選会優勝に基づく全日本大会出場権獲得者)

第8位 西岡 健 初段 渋谷TC 35 173/75 神奈川相模原 後ろ横蹴り 神奈川大会重量級優勝

第9位 小山恭弘 初段 横浜鶴見TC 踵落とし蹴り 関西大会中量級優勝

第10位 高田憲利 二段 岡山鏡野TC 35 170/67 岡山鏡野 後ろ回し蹴り 四国大会中重量級優勝

第11位 西本暢暁 初段 横浜市立大学体育会 21 関西大会中重量級優勝

第12位 山地 和 初段 東京中野TC 24 関西大会軽量級優勝

第13位 宮本貴大 初段 横浜市立大学体育会 21 神奈川大会中量級優勝

第14位 石川敏輝 初段 川崎TC 24 170/73 川崎市 後横蹴り 関東大会中重量級優勝

第15位 高橋佑輔 二段 高知TC 中国大会無差別級優勝

3、アンダー7 その2 (予選会入賞者中、地方クラブ・パイオニア推薦にもとづく全日本FT大会推薦出場確定者)

第16位 該当者無し

4、アンダー7 その3 (予選会入賞者中、試合内容に基づく全日本大会推薦出場確定者)

第17位 該当者無し

5、アンダー7 その4 (最終予選会入賞者中、全日本大会推薦出場確定者)

第18位 該当者無し

6、アンダー7 その5 (最終予選会参加者中、JTA倶楽部・体育会創設等功労に基づく全日本大会推薦出場確定者)

第19位 趙 哲来 三段 福岡筑紫野TC 32 182/99 横浜市 回し蹴り

* 推薦出場は最後とする

第20位 梅北徳彦 初段 鹿児島国分TC 35 171/80 鹿児島国分 踵落とし蹴り

* 功労推薦出場は最後とする

第21位 北村清一 初段 岡山大学体育会 21 全日本学生大会軽量級2位、中国大会軽中量級3位

7、アンダー7 その6 (最終予選会参加者等、JTA倶楽部活性化政策等に基づく全日本大会推薦出場確定者)

第22位 川崎達郎 初段 愛媛松山TC 26 179/99 愛媛八幡浜 後ろ横蹴り 四国大会中重量級2位

第23位 宮城汰月 初段 神戸六甲TC 17 関西大会中量級2位、他

第24位 玉田竜也 初段 神奈川大横浜体育会 22 東京大会無差別級2位、他

第25位 大高雄次 二段 横浜鶴見TC 神奈川大会中量級2位

第26位 高橋英樹 初段 横浜白楽TC 29 181/68 横蹴り 関東大会中量級3位

第27位 松崎大地 初段 名古屋天白TC 25 181/64 名古屋市 後ろ回し蹴り 中部大会無差別級3位

第28位 近藤祐希 初段 鎌倉大船TC 関西大会軽量級3位

第29位 小宮 優 初段 大阪弁天町TD

第30位 桑原修平 初段 湘南平塚TC

第31位 金山周平 初段 神奈川大学横浜校体育会

第32位 楊 龍 神奈川大学湘南校体育会

留学生推薦

備考

1, ランキング選定基準

前年度全日本F T大会および予選会における順位を前提としながら、

- ①本年度予選会のレベル（激戦度）
- ②ランカーは、2大会以上の優勝実績。
- ③本年度予選会における直接対決の勝敗
- ④本年度予選会における試合内容を基準とした。

2, 推薦出場選手選考および注意

- ①J T Aは、J T Aの運営上、持続的にボランティアで貢献した選手が全日本F T大会に出場できるよう配慮する団体である。実力が十分でなくても、持続的功労に報いるため推薦した。
- ②J T Aは、持続的に努力した選手が全日本F T大会に出場できるよう配慮する団体である。実力が十分でなくても、数年間にわたり持続的に予選会に挑戦する精神は評価に値するので推薦した。
- ③J T Aは、信義を重んじた選手が全日本F T大会に出場できるよう配慮する団体である。
たとえば、己の客観的実力をわきまえない輩が「自流派」を立ち上げ所属するクラブが混乱する場合がある。
数ある打撃系武道の中、J T Aテコンドーを選択した門人・会員にはまったく迷惑な話である。
当該混乱の最中、J T Aに留まり、信義を守った門人・会員は、我が全日本F T大会推薦出場に値する。
- ④推薦選手は、客観的に「フルコンタクト・テコンドー力」が足りないことを冷静に自覚しなければならない。
また、ノー・ヘッド・ギアでしかも無差別級である。
自己責任かつ死ぬかも知れないことを認識し、
残り約3ヶ月、フルコンタクト・テコンドーの修行を最優先し、防御能力を高めなければならない。
- ⑤J T Aは、母国を離れ、言葉も通じない慣れない異国で働きながら苦学し、しかもJ T Aテコンドーを継続した努力に報いるべきである。所定の留学期間を終え、母国に帰国予定の留学生を全日本F T大会に推薦する。

3, 選考外選手

予選会入賞者であっても

- ①引退している選手、
- ②大学卒業後、一度も予選会に参加していない選手、
- ③練習量が足りないとみなされた選手、

4, その他

①「A級蹴士（全日本FT大会の組手および型への個人戦2種目参加を認められる選手）」は絶対評価である。

予選会の結果による相対評価ではない。近日中に発表する。

②関東圏の選抜男子選手は、総見に参加しなければならない。

参加しない場合は、例外なく出場権を取り消す。交渉は一切受け付けない。

③推薦出場されたが、これを辞退した場合、来年度以降、推薦出場の対象者とはならない。

潔く現役を引退することを薦める。

5, 第25回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会の選抜選手選考大会名

- ①2013年11月 第24回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会
- ②2013年12月 第1回鹿児島県テコンドー選手権大会
- ③2013年12月 第7回四国テコンドー選手権大会 兼 第9回高知県テコンドー選手権大会
- ④2014年1月 第25回神奈川県テコンドー選手権大会
- ⑤2014年3月 第3回佐賀県テコンドー選手権大会
- ⑥2014年3月 第2回兵庫大阪テコンドー選手権大会
- ⑦2014年3月 第16回関東テコンドー選手権大会
- ⑧2014年5月 第6回中部テコンドー選手権大会 兼 第11回愛知県テコンドー選手権大会
- ⑨2014年6月 第6回中国テコンドー選手権大会 兼 第10回岡山県テコンドー選手権大会
- ⑩2014年6月 第5回九州テコンドー選手権大会 兼 第3回長崎県テコンドー選手権大会
- ⑪2014年6月 第17回東京都テコンドー選手権大会
- ⑫2014年8月 第12回関西テコンドー選手権大会 兼 第5回JTA団体対抗戦
- ⑬2014年10月 第26回全日本学生テコンドー選手権大会